

キャラクター名
黒沼 望 (クロヌマ ノゾム)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	18歳	性別	男
覚醒	命令	衝動	妄想	初期侵食率	46 %
出自	姉妹	経験	汚れ仕事	邂逅	実験体

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	3	1	0		2	6	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0		1	2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
従者の爪		0	3	8		愚者の兵装
伸縮性警棒		0	0	2		オートで装備可能
コンボ (100↓) : 歪な黒槍(従者)	白兵	6r+2	-	10		[1+6] ドッジ-1D
コンボ (100↑) : 歪な黒槍(従者)	白兵	6r+2	-	12		[1+6+(7)] ドッジ-1D、(攻撃力+2D、範囲(選択))

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 要人への貸し	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス: 実験体	P	N		
黒沼 叶	P 執着	N 恐怖		
三ヶ島 良太	P 憧憬	N 憤懣		
大貫 真琴	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C: エグザイル	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	判定のクリティカル値-LV							
赤色の従者	1	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	従者を作成する。従者が存在する間全てのダイス-3							
声なき者ども	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中に作成できる従者の数を+Lv体する。侵食基本値+7							
赤河の従僕	5	3	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	従者の能力値+Lv。侵食基本値+3							
血の絆	2	3	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	作成した従者をシナリオ終了時まで維持する。							
爪剣	1	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	攻撃力+ [Lv*2]、ドッジのダイス-1							
ジャイアントグロウス	1	5	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	100	
効果:	対象を範囲(選択)に変更、攻撃力を+2Dする							
愚者の兵装	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	従者に専用アイテムを装備させる。侵蝕基本値+4							
生体侵入	1	4					-	
効果:	気絶中の人の身体に入り込む							
擬態の仮面	1	-					-	
効果:	容姿を変える							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

使用ループ: 基本①②、上級

UGN職員名簿 No.326
IDを確認します……………
……………認証しました。
項目: UGNイリーガル

CN: フォームレス・スポン

概要

黒沼 望 (以下は望と表記)は20XX年11月(当時9歳)にS市XX町で、一体のジャームに襲われていたところを、偶然その場に居合わせたイリーガルによって保護された。ジャームは望の■■であったことが前述のイリーガルの報告により判明、望の要望もあり現在■■ ■は【編集済み】において、全身を拘束し常時麻酔を投与され保管している。この時点では望にレネゲイドウィルスの感染は見受けられなかった。その後は望と前述のイリーガルの申し出により、非オーヴァードのイリーガルとしての活動が許可された。

20XX年3月(当時11歳)、■■ ■■博士に脅迫され彼の実験台にされ様々な薬品などを投与される。その結果、望はほぼ強制的にオーヴァードに覚醒。その後も■■博士に何度も不正に命令が行われていたことが発覚。■■博士は【編集済み】への降格処分が下された。

■■博士による多くの実験と命令によってか、右腕と左足、右肺などの一部の臓器がリザレクトでの再生が不能なレベルでの欠損が発生しており、現在はその部位を自身の従者に置換させ、生命活動を維持している。(〈生体侵入〉で置換、〈擬態の仮面〉で見た目の再現)
その後は目立った問題もなく現在までイリーガルとして活動している

能力

従者使い。黒い泥の様な見た目の従者を二体まで作成し、従者と共に敵を攻撃する。また、他者へ従者を接触させ〈擬態の仮面〉により変装させることができる。従者の呼称は銀(イン)と白(パイ)。見た目は同じなため本人以外に判別は不能。